

令和5年度 出会いから学ぶ人権学習 実施要項

- 1 目的 個別の人権課題について、その当事者や課題に取り組む人から体験や思いを直接聞くことにより、課題の現状を認識するとともに、自分との関わりや自らの生き方・在り方を見つめ直し、今後の人権教育の推進に活かす。
- 2 対象 幼稚園、認定こども園、小・中学校、義務教育学校、高等学校及び支援学校の教職員
募集人数 各コース 50名

3 日時等

回		日時	主題	講師等
1	a コース	7月28日(金) 9:30~12:30	ハンセン病問題から学ぶ 〔講演・班別交流〕	ハンセン病回復者支援センター コーディネーター 加藤めぐみ ハンセン病関西退所者原告団 いちょうの会 会員
	b コース	7月31日(月) 9:30~12:30	ヤングケアラーについて 〔講演・全体交流〕	特定非営利活動法人ふうせんの会 常務理事 朝田 健太
	c コース	11月8日(水) 14:00~17:00	人権尊重のまちづくりに学ぶ 〔講演・施設見学〕	堺市立人権ふれあいセンター「舳 松人権歴史館」 職員等

※太字の時間帯は、通常時間帯と異なるので注意してください。

- 4 会場 a・bコース 大阪府教育センター(大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882)

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- cコース 堺市立人権ふれあいセンター(堺市堺区協和町2丁61番1号)

南海高野線「堺東」駅下車、南海バス「大仙西町団地前」下車、南へ約500m
南海線「湊」駅下車、南西へ約1,300m
阪堺線「御陵前」駅下車、南東へ約900m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所・来場時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は会場に駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
- 6 担当室 人権教育研究室

令和5年度 出会いから学ぶ人権学習 シラバス

1 目的

個別の人権課題について、その当事者や課題に取り組む人から体験や思いを直接聞くことにより、課題の現状を認識するとともに、自分との関わりや自らの生き方・在り方を見つめ直し、今後の人権教育の推進に活かす。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期	○														
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
a コース	ハンセン病問題 から学ぶ	ハンセン病問題について認識を深め、偏見や差別をなくすために、学校でできることについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 事前課題、講演等を通して、ハンセン病問題の歴史や現状、回復者とその家族の現状と課題について認識を深める。 ハンセン病回復者の体験や思いを知り、ハンセン病問題が現在の社会に投げかける問題について認識を深め、児童生徒に向けた具体的な取組みについて考える。 	事前課題 人権教育リーフレット「ハンセン病問題に学ぶ①②」を読んでおく。
b コース	ヤングケアラー について	ヤングケアラーについて認識を深め、学校としてできることについて考える。	事前課題や講演を通して、ヤングケアラーの置かれている現状と課題について知り、ヤングケアラーの思いを尊重しながら、寄り添うために、教職員としてできることを考える。	事前課題 人権教育リーフレット「ヤングケアラー」を読んでおく。
c コース	人権尊重のまち づくりに学ぶ	人々の願いを大切に、まちづくりを進める地域の取組みに学び、多様な人々の人権を尊重するためにできることについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学や講演を通して、差別をなくすために取り組んできた人々の姿に学ぶ。 社会にある差別や偏見をなくすために、行動することの大切さについて認識を深める。 	準備物 クリップボード